

市立博物館企画展2

弘前ねぶた展

ねぶたまつりは、夏の疲れや睡魔を流し去る行事「眠り流し」が起源と考えられています。今年の弘前ねぶた展では、ねぶたの歴史を振り返るとともに、疫鬼（えきき…疫病を引き起こす悪い鬼）を退治する神とされる鍾馗（しょうき）のねぶた絵や、昨年の祭りのために描かれた弘前大学のねぶた絵も展示します。

▼とき 7月17日（土）～9月20日（月・祝）
午前9時30分～午後4時30分

▼休館日 第3月曜日（7月19日、8月16日）

▼併催 常設展「ひろさきの歴史と文化 ～原始から近現代へ～」

【特別講座】

「浮世絵がねぶた絵に与えた影響について」をテーマに、特別講座を行います。

▼とき 8月7日（土）、午後2時～3時15分

▼ところ 市立博物館ホール

▼講師 三上幸子さん（市立博物館学芸員）

▼定員 50人（先着順／事前の申し込みが必要）

▼参加料 無料（ただし観覧料が必要）

▼申し込み方法 7月15日（木）以降に電話で申し込みを。

～共通事項～

▼観覧料 一般300（220）円／高・大学生150（110）円／小・中学生100（50）円

※（ ）内は20人以上の団体料金。65歳以上の市民、市内の小・中学生や外国人留学生、市内外の障がい者、ひろさき多子家族応援パスポートを持参の人は無料。年齢や住所を確認できるものの提示を。高岡の森弘前藩歴史館との共通券もありますので、詳しくはお問い合わせください。

■問い合わせ・申込先 市立博物館（下白銀町、☎35-0700）



▲竹森節堂筆『楽人』

有料広告

有料広告



広報ひろさきは環境にやさしい
インキを使用しています。

